

新型インフルエンザの感染拡大が気になる毎日ですね。当初のパニックに比べ、報道等は少し沈静化したようですが、都市部を中心に色々な影響が出ているようですね。コンサートなども中止を余儀なくされることもあり、残念な気がしますが...やはり健康第一!! ということを改めて感じます。みなさん、栄養&睡眠をしっかり取って体力をつけ、元気に過ごしましょう!

総会の報告

去る5月10日(日)に、長谷川楽器店3階ホールにて今年度の総会が行われました。様々な議論がなされましたが、フルートの会も31年目に突入し、ますます盛り上がっていく雰囲気を感じました。総会の詳細につきましては資料を同封しておりますので、ご覧ください。

会計係からのお知らせ

会費を、以下のいずれかの方法で9月末までに納入してください。

- 1)同封の振込用紙を使って郵便局で振り込む
- 2)長谷川楽器店に預ける(同封の振込用紙を必ず一緒に持って行ってください)
- 3)会計係(山本恵理さん)宛に現金書留で送る(山本さんの住所は下記を参照のこと)
- 4)会計係(山本恵理さん)に直接手渡す

会費に関するお問い合わせは山本恵理さんをお願いします。なお、振込用紙を紛失した場合は、郵便局備え付けの振込用紙を使って下記の口座に振り込んでください。

- 1)振込先口座:岡山フルートの会 口座番号:01210-1-16893
- 2)山本恵理さんの住所:〒701-2142 岡山市北区玉柏2223-7
- 3)山本恵理さんの携帯&アドレス:090-1684-3149 PCアドレス:yamaeri@coral.plala.or.jp

チャレンジコンサート実行委員を募集!

第17回チャレンジコンサートを、11月3日(火・祝)就実学園「なでしこホール」にて開催します。現在、実行委員を募集しています。実行委員を希望される方は、能勢さんにご連絡ください。
お問い合わせ:能勢さん(090-8991-3711)

星っさんコーナー(その43)

「楽しみな第14回日本フルートコンベンション2009」

顧問 星島明郎

今夏、8月21日(金)から23日(日)までの3日間、昭和音楽大学(神奈川県川崎市麻生区)で開催される「第14回日本フルートコンベンション2009」の参加要項が送られてきましたので、その内容を皆さんにご紹介したいと思います。

「日本フルートコンベンション」は、日本フルート協会(峰岸壮一会長)が主催し、1年おきに開催されているフルートの祭典です。これまで、札幌、新潟、神戸、広島、福岡など、日本各地で開催されてきましたが、前回(一昨年)は、東京芸術大学のキャンパスを中心に盛大に開催されました。今回は 14 回目になりますが、日本国内だけでなく世界中からプロやアマチュアのフルーティストが何百人、何千人と集まって、3 日間フルート音楽の中にどっぷりと浸かるのです。演奏(我が岡山のフルート・アンサンブル「セレーナ」と香川のフルート・アンサンブル「クリシュナ」のメンバーによる共演もあります)、講演、コンクール(ソロ部門・ピッコロ部門・アンサンブル部門など)、公開レッスン、世界中の楽器の展示ブース(いくらでも試奏できます)など、フルートに関するものは何でもあります。プロもアマも一緒になって、共に学び、聴き、演奏し、語り合う、まさに笛びたりの 3 日間となるのです。

さて、今年のコンベンションの内容を少しご紹介しましょう。国外からはジャン＝クロード・ジェラール(フランス)、クララ・ヴァコヴァ女史(チェコ)、パトリック・ガロワ(フランス)、デニス・ブリアコフ(ロシア)など、ヨーロッパから超一流の名手達が参加して、リサイタルをはじめさまざまなコンサートや公開レッスンをします。1 年ほど前の星っさんコーナー(その 33)で紹介した、信じられないほど素晴らしい音量と音質を持つ若いデニス・ブリアコフのリサイタルも楽しみですが、いま私が最も期待しているのは、パトリック・ガロワの音楽です。ガロワは 1956 年生まれですから現在 53 歳、若い頃はロリン・マゼール指揮のフランス国立管弦楽団の首席を務めるなど、オーケストラプレーヤーとして活躍しましたが、30 歳頃からは独奏者として、また、指揮者として活躍しています。私は、ガロワの 1992 年録音の CD を 2 枚持っています。今から 17 年前、ガロワ 36 歳の時のものです。いずれも無伴奏の演奏で、一枚はパガニーニの「24 のカプリス」、もう一枚は、今年の日本フルートコンベンションのリサイタルで全曲演奏(12 曲)する予定のテレマンの「ファンタジー」です。同じ年に録音したこの 2 曲の表現の違いに、先ず驚かされます。パガニーニの方は、フラッター、各種タンギング、重音奏法、ハーモニックス、声なども使ってフルートのありとあらゆる技法をふんだんに取り入れた超現代的な表現で、ヴィブラートも多彩です。一方、テレマンの方は、ヴィブラートを全くかけないで、あたかもバロック時代のトラヴェルソの音楽を聴いているような 18 世紀的な心に染み入る演奏なのです。この録音から 17 年たった今、どのような楽器でどのような演奏スタイルに進化しているのか、今回のコンベンションで私が最も楽しみにしている演奏です。

今日はこれくらいにしますが、いろいろ楽しみな企画、行事、演奏が目白押しで、最終日の打ち上げと後夜祭も含めて今からワクワクしている私です。詳しい内容を知りたい方や参加要項が欲しい方は、長谷川楽器店または「岡山フルートの会」の役員から受け取ってください。なお、申し込み締切日は 7 月 10 日です。

演奏会情報は野崎さんに連絡してください MegMegO_Ov@yahoo.co.jp

会報係チーフが野崎さんに交代しましたので、連絡先(メール・アドレス)が変わりました。

【会報の封筒詰めのお知らせ】

7 月号の会報の封筒詰めを、7 月 7 日(火)午後 7 時から長谷川楽器店 3 階ホールで行います。会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。